

(2) 戸建分譲地

分譲地全体でみどりをデザインして
生きものを呼んでみませんか。



Column 3軒からはじまるガーデニング支援制度

区内の民有地で、誰もが景観を共有できる場所を対象として、3軒以上のグループでの緑化活動を支援する制度です。

(一財)世田谷・ラズ・まちづくり「3軒からはじまるガーデニング支援制度」担当
電話：03-6379-1620 (2018年5月7日より)

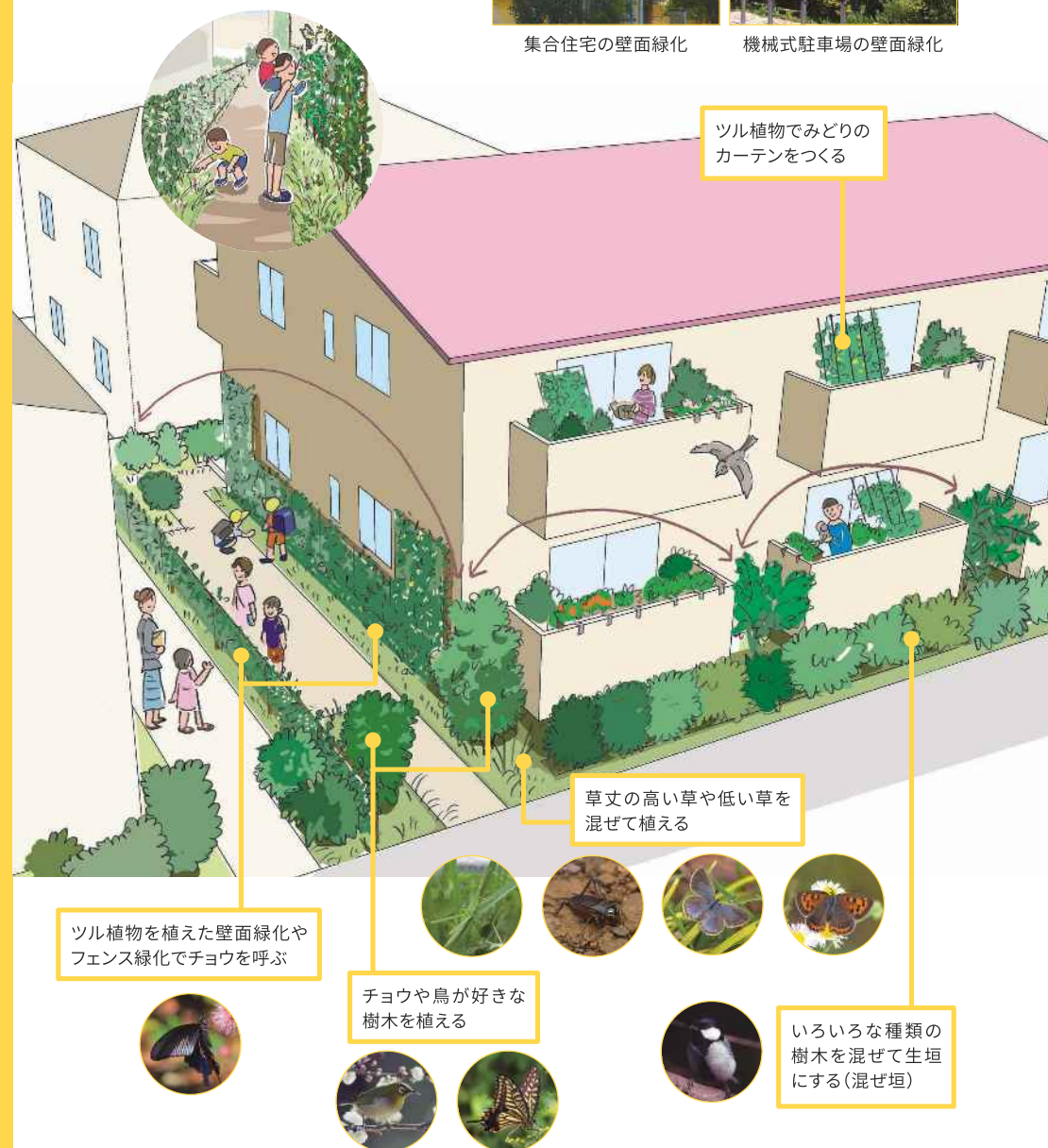
(3) 小規模な集合住宅

玄関先やベランダ、通路などのスペース
を使って生きものを呼んでみませんか。



集合住宅の壁面緑化

機械式駐車場の壁面緑化



(4)大規模な集合住宅

まとまった緑化やいろいろな手法で
生きものを呼んでみませんか。



プランターを活用して
ベランダでみどりを楽しむ



既存樹木を残した
集合住宅の外構植栽



水鉢にちょこっと空間
をつくってみる **p.16**

屋上にも植えられる
草や樹木を選ぶ

建物のボリュームを
活かして壁面を緑化する

雨水浸透柵を設置して
雨の恵みを活かす

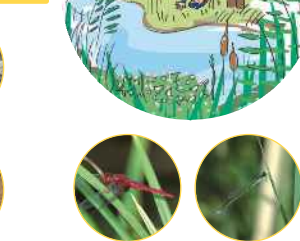
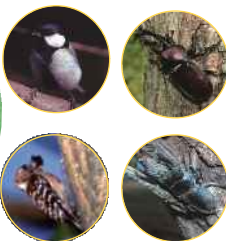
生きものを呼ぶ水辺を
つくって交流の場にする

近くのみどりと
つながりを意識
して緑化する

林

さまざまな高さの樹木や草を
組み合わせて植える

草丈の高い草や低い
草を混ぜて植える



(5)建ぺい率が高い地域での商業系建築物

屋上や壁面の緑化なども活用して生きものを
呼んでみませんか。



商業施設の屋上に整備した林



屋上菜園でみどりの
恵みを収穫する

草丈の高い草や低い
草を混ぜて植える

屋上の水辺で
生きものを呼ぶ

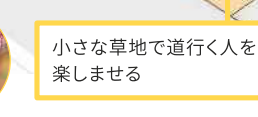
乾燥しやすい屋上には
灌水装置があると良い

大規模な壁面緑化には
灌水装置があると良い

建物の顔にもなる
壁面緑化を工夫する

小さな草地で道行く人を
楽しませる

セットバックした
スペースにシンボル
になる樹木を植える



3-2.緑化の種類で考える

(1) 樹木を植える

多くの樹木があることは理想的ですが、たとえ1本の樹木からでも、連続し、点在する周囲のみどりを伝えてさまざまな生きものを呼ぶことができます。



集合住宅の中庭につくられた林

1) 樹木を植えてこんな生きものを呼んでみよう

区内全域で呼ぶことが期待できる生きものの例



メジロ(②)



アゲハ(⑤⑥)



コムスジ(⑥)



ミンミンゼミ(①)

みどりが連続または点在する地域で呼ぶことが期待できる生きものの例



コゲラ(①④)



ウグイス(①)



コクワガタ(①④)



カブトムシ(③)

※()内の数字は「2) 樹木を植えるときに考えたいこと」で特に関係する番号を示しています。

2) 樹木を植えるときに考えたいこと

① 多様な環境が生きものを呼ぶ

さまざまな高さの樹木や草があると、多くの生きものがすみやすくなります。タヌキやウグイスはヤブを、コクワガタは明るめの林を好むように、生きものごとに好む環境が違います。場所によって植える密度や手入れの頻度を変えるなど、環境を多様化してみましょう。また植物の種類の多さは、生きものの種類の多さにもつながります。複数の植物を組み合わせることで生垣にするなど、工夫してみましょう。

さまざまな高さの樹木を植える



② 実のなる樹木は鳥も好き

実のなる樹木は街に季節の彩りを与えるだけでなく、その実を好む鳥を呼ぶことができます。

鳥が好む実のなる樹木

鳥の種名	樹種名
オナガ・ヒヨドリ	タブノキ・ウワミズザクラ・ムクノキ・ガマズミ・アケビ
ツグミ・ヒヨドリ	モチノキ・イイギリ・ムクノキ・ヒサカキ・ガマズミ
ヒヨドリ・メジロ	ヤブツバキ(吸蜜)・ヒサカキ・アケビ
ジョウビタキ・ツグミ	マコミ・ツルウメモドキ
ジョウビタキ・ヒヨドリ	ムラサキシキブ



ムラサキシキブ

③ 落ち葉は虫のすみかにもなる

落ち葉は分解されて土壌になるだけでなく、分解途中ではカブトムシの幼虫のすみかになります。



落葉や枝の堆肥化

④ 枯れ木も生きものには必要

キツツキの仲間のコゲラは、枯れ木から虫をとって食べます。また、コクワガタの幼虫は倒木の中で腐食した木を食べて育ちます。枯れ木や枯れ枝を安全に残せる工夫をしてみましょう。



枯れ枝の堆積場所
(区立桜丘すみれば自然庭園の事例)

⑤ チョウも樹木を選ぶ

チョウの仲間は、種類によって幼虫のときに食べる植物が決まっています。

チョウの幼虫が食べる樹木

チョウの種名	樹種名
アゲハ	サンショウ・ミカン類(ユズ・ミカン・レモンなど)
クロアゲハ	



⑥ 限られた場所にはツル植物

ツル植物を壁面緑化や生垣に用いることで、限られたスペースでも生きものを呼ぶことができます。

ツル植物と生きものとの関わり

樹種名	動物との関係
キヅタ・アケビ	鳥が実を食べる・チョウが吸蜜
ツタ・ツルウメモドキ	鳥が実を食べる
ツルグミ・テイカカズラ・スイカズラ・ノブドウ	チョウが吸蜜
フジ	チョウ(コムスジ)の幼虫が食べる・チョウが吸蜜



ツル植物(テイカカズラ)による緑化
(地域風景資産
「季節の野草に出会う小径」の事例)

(2)草を植える

草地は樹木よりも薄い地盤でも緑化することができ、限られた空間でも生きものを呼ぶことができます。



商業施設の屋上に整備した草地

1)草を植えてこんな生きものを呼んでみよう

区内全域で呼ぶことが期待できる生きものの例



カワラヒワ



ヒガシノホントカゲ



ニホンカナヘビ



エンマコオロギ



ショウリョウバッタ



トノサマバッタ

みどりが連続または点在する地域で呼ぶことが期待できる生きものの例



ツグミ



ジョウビタキ

2)草を植えるときに考えたいこと

① 草丈によって来るものも違う

ひとくちに草と言っても種類も丈もさまざまで、そこにすむ生きものも異なります。植える種類を変えたり、草刈の頻度を変えて、さまざまな草地をつくりましょう。



ツグミ



ヤマトシジミ



ジョウビタキ



カワラヒワ



キタテハ



ショウリョウバッタ



エンマコオロギ



トノサマバッタ

それぞれの草地で見られる生きもの



草丈の低い草地

- 主な植物
シバ・ギョウギシバ・ハハコグサ・スミレ類・ネジバナ・タンポポ類・ツルボ・キツネノマゴ・ミツバツチグリ・イヌタデ・ニガナ・コナスビなど
- 草刈の頻度と時期の目安
草刈年3回程度
5～6月・8月・10～11月



草丈のやや高い草地

- 主な植物
チガヤ・ヤブカンゾウ・ツルボ・ワレモコウ・ツリガネニンジン・キツネノマゴ・ノアザミ・ユウガギク・ニガナなど
- 草刈の頻度と時期の目安
草刈年2回程度
5～6月・10～11月



草丈の高い草地

- 主な植物
ススキ・ツリガネニンジン・ノコンギク・クサボケ・ワレモコウ・ノハラアザミ・ノアザミ・ヒヨドリバナ・ヤブマメ・ヤブツルアズキ・センニンソウなど
- 草刈の頻度と時期の目安
草刈年1回程度
10～11月

(区立桜丘すみれば自然庭園の事例)

② チョウは草も選ぶ

呼んでみたいチョウの幼虫が食べる草を植えましょう。

チョウの幼虫が食べる草

チョウの種名	草の種名
キタテハ	カナムグラ
キタキチョウ	メドハギ
コムスジ	ヌスビトハギ
ジャコウアゲハ	ウマノスズクサ・ヤブマメ・ノササゲ
ヒメジャノメ	ススキ・スズメノカタビラ・ノガリヤス
ベニシジミ	スイバ・ギンギン・ノダイオウ
ヤマトシジミ	カタバミ



ヒメジャノメ



ススキ

(区立岡本静嘉堂緑地の事例)

Column 花に集まるチョウや鳥

花の咲く時期が違う植物を組み合わせで植えると、蜜を吸うチョウや鳥を四季を通じて呼びやすくなります。



クロアゲハ



キタキチョウ



ベニシジミ



メジロ

Column 隙間にかくれるトカゲ類

15cmほどの大きさの石を、高さ30～40cmに積み、隙間をニホンカナヘビやヒガシノホントカゲ、昆虫などのすみかになります。



集合住宅の庭につくられた石積み